

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●松本大輝騎手が通算100勝、杉原誠人騎手は通算200勝を達成

8月1日(土)の1回札幌3日・第3レースではリテラシーが1着となり、松本大輝騎手(栗東・森秀行厩舎)は、現役89人目となるJRA通算100勝(1950戦目)を達成しました。また翌2日(日)の2回新潟4日・第10レースではレディサンが1着となり、杉原誠人騎手(美浦・フリー)は、現役58人目となるJRA通算200勝(5196戦目)を達成しました。

### ●北村友一騎手がJRA全10場重賞制覇を達成

8月2日(日)の1回札幌4日・第11レースとして行われた北海道新聞杯クイーンS(GⅢ)ではコナツブラウンが優勝し、同馬に騎乗した北村友一騎手(栗東・フリー)は、史上9人目となるJRA全10場重賞制覇を達成しました。

### ●高柳大輔調教師が通算200勝、中尾秀正調教師が通算400勝を達成

8月1日(土)の2回中京3日・第4レースではウンナターシャが1着となり、高柳大輔調教師(栗東)は、現役102人目となるJRA通算200勝(延べ2162頭目)を達成しました。また同日の1回札幌3日・第6レースではウーマンズパワーが1着となり、中尾秀正調教師(栗東)は、現役39人目となるJRA通算400勝(延べ4934頭目)を達成しました。

### ●ジョッキーベイビーズの北海道地区代表が決定

7月26日(日)、北海道浦河町のJRA日高育成牧場で全国ポニー競馬選手権「第16回ジョッキーベイビーズ」の北海道地区代表決定戦が実施され、笠松渚さん(小学6年生)が同地区代表に決定しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ヤングジョッキーズシリーズ トライアルラウンドが門別で開幕

2026ヤングジョッキーズシリーズ トライアルラウンドは8月5日に門別で開幕し、第1戦は佐野遥久騎手(川崎)、第2戦は長浜鴻緒騎手(美浦)が制しています。

### ●カツテナイオイシサが高知三冠を達成【各地の主要3歳重賞】

黒潮菊花賞(8月2日、高知、1,900円)は、中団から2周目の3コーナー過ぎに先頭に立ったカツテナイオイシサ(牡、父ヴァンセンヌ)がそのまま押し切り、単勝1.1倍の支持に応じて史上6頭目となる高知三冠を達成しました。

### ●サンライズアムールらが参戦、8月11日のクラスターC(盛岡)

クラスターC(JpnⅢ、8月11日、盛岡、1,200円)は、昨年の覇者サンライズアムールが最有力、ポッドベイダー、アンズアメが続き、クロジシジョー、ルコルセール(岩手)までが争覇圏内と考えられます。

### ●8月13日の北海道スプリントCにトウカイマシェリらが出走

北海道スプリントC(JpnⅢ、3歳、8月13日、門別、1,200円)は、兵庫ジュニアグランプリを制した牝馬トウカイマシェリが中心、ベストグリーン(北海道)も差はなく、以下ラッキーキッド、エコロレーヴ、スマートジュリアスの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1サセックスS～ボウエコーがG1・3連勝

現地7月29日にイギリスのグッドウッド競馬場で行われたG1サセックスS(3歳上、芝1,600円)はB. ロクナン騎手が手綱を取ったボウエコー(牡3歳、父ナイトオブサンダー、G. ボーウィー厩舎)が直線で行き場を失う場面がありながらも、進路が開くと強烈な瞬発力を発揮して優勝しました。半馬身差の2着に昨年の欧州最優秀2歳牡馬グスタード。勝ったボウエコーはこれで昨年8月のデビューから6連勝。今年は始動戦となった5月のG1英2000ギニー(芝1,600円)、6月のG1セントジェームズパレスS(芝1,590円)に続く3連勝でG1は3勝目となりました(今年の3戦の2着馬はいずれもグスタード)。

### ●スニツェルが5度目の豪チャンピオンサイヤー

7月31日に閉幕したオーストラリアの2025/26年シーズンにおけるチャンピオンサイヤーにスニツェル(父リダウツョイス、2025年6月に22歳で死亡)が輝きました。獲得賞金は2603万662豪ドル(約29億5708万円/1豪ドル=113.6円で換算)。4シーズン続けての首位だった16/17~19/20年以来、通算5度目となる戴冠となりました。G1クールモアクラシック(芝1,500円)に勝ったラズラ、G1ATCサイアーズプロデュースS(芝1,400円)のカンピョーネディターリア、G1ATCシャンペンS(芝1,600円)のファイアボールなど6頭がオーストラリアでG1勝ちを収めました。